

令和4年度 島根県学力調査結果及び分析（松江市立八雲中学校）

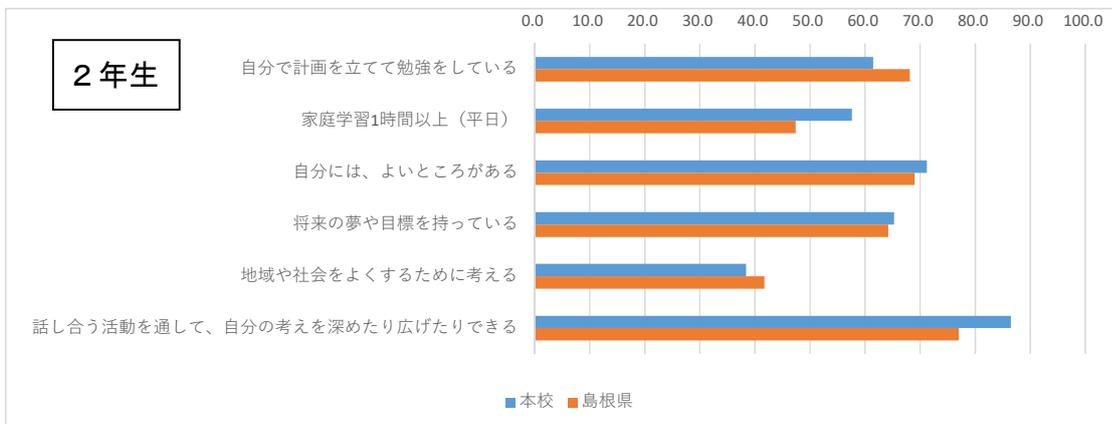
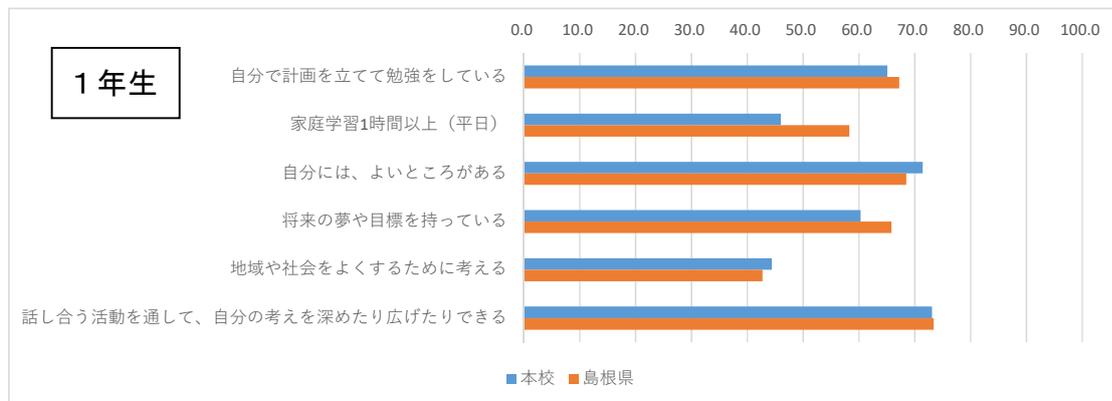
(1) 学力調査結果から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

1 年 国 語	○漢字を読むことについて概ね目標値を上回っている。 ○文章を書くことについて、正答率は低いものの無回答率が低く、書くことについての意欲が見られる。 ●全体的に目標値を下回っている。文章を理解して考えること、根拠を明確にして考えることに、大きな課題がある。	2 年 国 語	○全体的に目標値を上回っている。特に、文章を書くことについては、目標値・県平均を大きく上回っている。今年度、本学年は書くことについて重点的に取り組んでいる。 ●小学校で習った漢字については、概ね目標値を越えるものの、今後復習項目として取り組む必要がある。
1 年 数 学	○一次方程式、比例の計算は比較的よい。計算練習、小テストの取組によると考えられる。 ●全体として目標値より低い。思考・判断・表現より知識・技能不足の方が目立つ。基礎の定着のため、個に応じた取組の工夫や自主学習のすすめが必要である。	2 年 数 学	○全体として目標値より低いが、全国の平均値より高い。特に計算処理については、復習しているので得点が高い。 ●内容別では図形の性質や証明、観点別では思考・判断・表現が得点が低く、30点以下の個別指導が必要な生徒が多い。
1 年 英 語	○全体として目標値より低いが、内容理解リスニングと3文以上の英作文は、県の平均正答率より高い。授業の英語のやりとり、リスニング教材の活用の成果だと思われる。 ●さまざまな英文、長文の読み取り、場面に応じて書く英作文に課題がある。	2 年 英 語	○目標値より低い項目が多いが、長文読解や3文以上の英作文は県の平均正答率より高い。授業で読み取りや英文を書く活動を頻繁に取り入れている成果だと思われる。 ●内容別では、語彙の知識・理解と場面に応じて書くことが課題である。

(2) 生活意識調査から見られた成果と課題（○：成果 ●：課題）

1 年	○自分には良いところがあると答えた生徒の割合が高い。 ●平日の家庭学習が1時間以上の生徒の割合が極めて低く、学習習慣が身につけていない。 ●家庭でのメディア利用時間が、島根県平均と比べて非常に高く、メディアとの付き合い方に問題がある生徒が多い。	2 年	○話し合う活動を通して自分の考えを深めたり広げたりできている生徒の割合が高い。 ○平日1時間以上の家庭学習の習慣が身につけていると答えた生徒が半数以上いる。 ●自分で計画的を立てて勉強をしている生徒の割合は低い。教員が用意する自学計画のみ活用する生徒が多い。
--------	--	--------	---

(3) 意識調査(教育委員会として注目している項目のうち、全国学力・学習状況調査と同様の質問項目を挙げています)



【受検者数】 1年生 68名 2年生 53名

※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示。